

# 【チームA 発表資料】

明治大学  
創立者のふるさと活動隊  
@山形県天童市

Aチーム  
國崎哲也 高橋伶奈 櫻井和美 森万佑子

## インバウンド

### 理由

- ① インバウンド事業に伸び代を感じた
- ② 「将棋駒のまち」を活かすことができる

### ①インバウンド事業に伸び代を感じた

天童市の現状（2016年）

1万4千人（外国人宿泊者数）

圧倒的に少ない

248万人（観光客数）

外国人観光客  
獲得の  
チャンス

2019年9月20日～ラグビーワールドカップ（岩手開催）  
2020年8月 東京オリンピック（宮城でサッカー）

### 現状

東北地方への宿泊者数（2016）  
→ 120万人

全国トップの伸び代

国割合	伸び率
1位 台湾	香港 +30%
2位 中国	台湾 +28%
3位 韓国	タイ +41%

天童市にも  
伸び代あり  
◎

### インバウンド成功事例

岡山県

英語・中国語・韓国語  
タイ語・フランス語・ドイツ語

- ◆ 7か国語対応のホームページ
- ◆ LCCの台湾直通
- ◆ 商店街での免税システムの拡充
- ◆ インバウンド向けきっぷの発売



## インバウンド成功事例



## ②「将棋駒のまち」を活かすことができる

「将棋」という日本文化に触れることができる



## 訪日外国人観光客の訪問先伸び率



## 世界に通用する天童市の魅力



## 取り組むポイント① アクセス

外国人向け東北周遊プラン

きっぷ + 天童市内のお食事券 + 駒のお土産

- ◆ 東北地方の他自治体との協力を主導  
→ 天童に多くの集客を見込める
- ◆ 他国からの直行便の開設
- ◆ スキー場との連携強化

## 取り組むポイント② 観光客対応

多言語対応

- ◆ パンフレット
- ◆ 飲食店のメニュー
- ◆ 標識の見直し（言語を大きく）
- ◆ 近隣の学生による観光ガイド

英語だけでなく  
中国語  
韓国語  
タイ語

